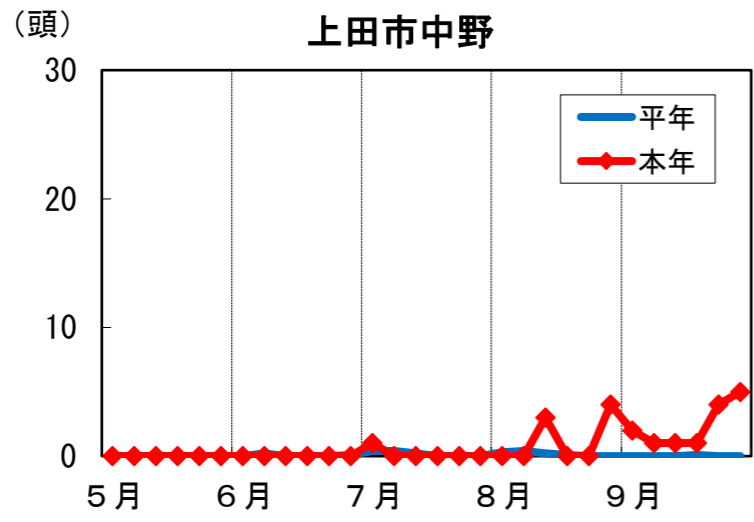
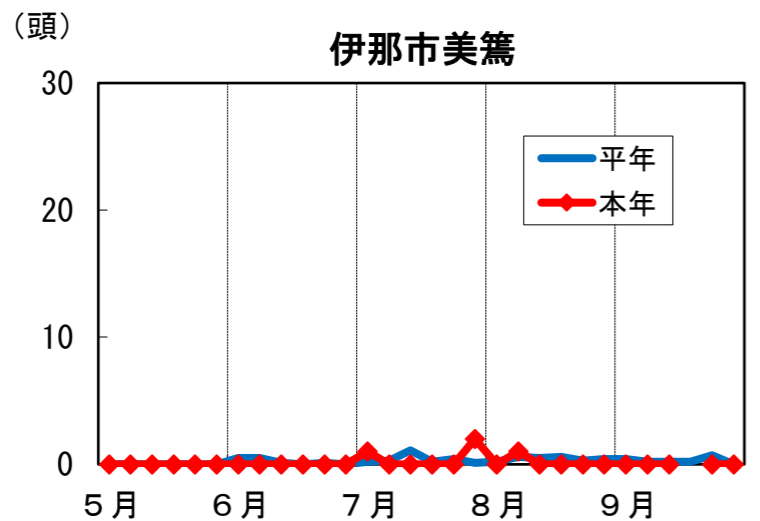


予察灯によるアカスジカスミカメの誘殺消長【令和5年(2023年)】

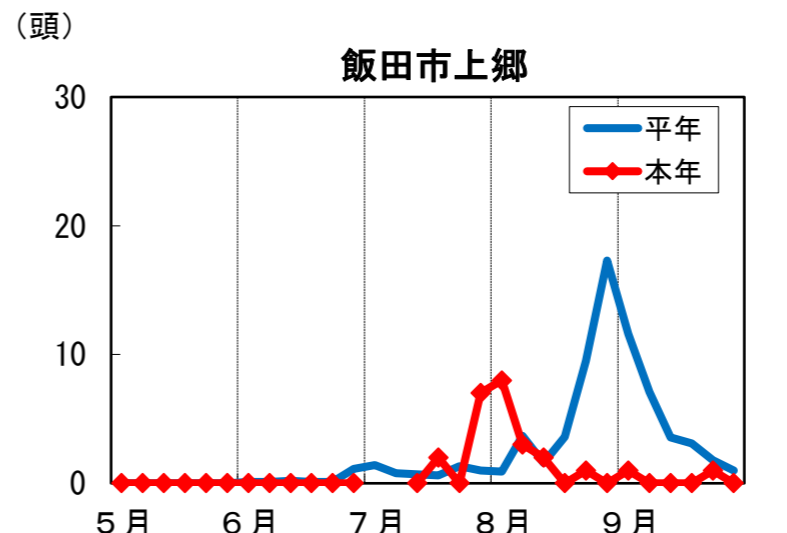


※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均

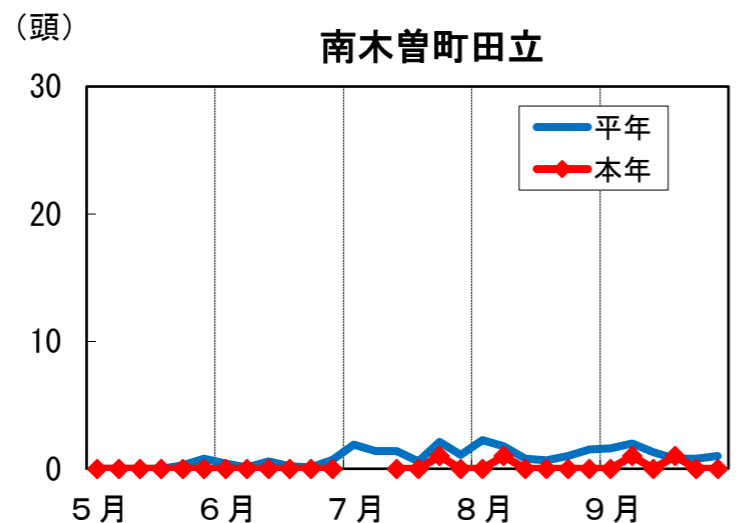
・上田市では、7月第1半旬に1頭初誘殺され、8月第3半旬に3頭、第6半旬に4頭、以降、継続して数頭ずつ誘殺されました。
 ・伊那市では、7月第1半旬に1頭初誘殺されました。その後、7月第6半旬、8月第2半旬に数頭ずつ誘殺されましたが、その後は誘殺されませんでした。9月第4半旬は電球切れのため欠調です。
 ・飯田市では、7月第4半旬に2頭誘殺されました。7月第1、第2半旬は電球切れのため欠調です。7月第6半旬、8月第1半旬はやや多い誘殺頭数でしたが、8月第2半旬以降は平年と比べて少ない誘殺頭数でした。
 ・南木曾町では、7月第5半旬に1頭誘殺されました。7月第1、第2半旬は電球切れのため欠調です。その後、8月第2半旬、9月第2半旬、第4半旬に1頭ずつ誘殺されました。
 ・安曇野市では、7月第2半旬に1頭初誘殺されました。ほぼ平年並の誘殺頭数でした。
 ・須坂市では、8月第3半旬に1頭初誘殺され、その後微増し、平年と比べやや多い誘殺頭数でした。



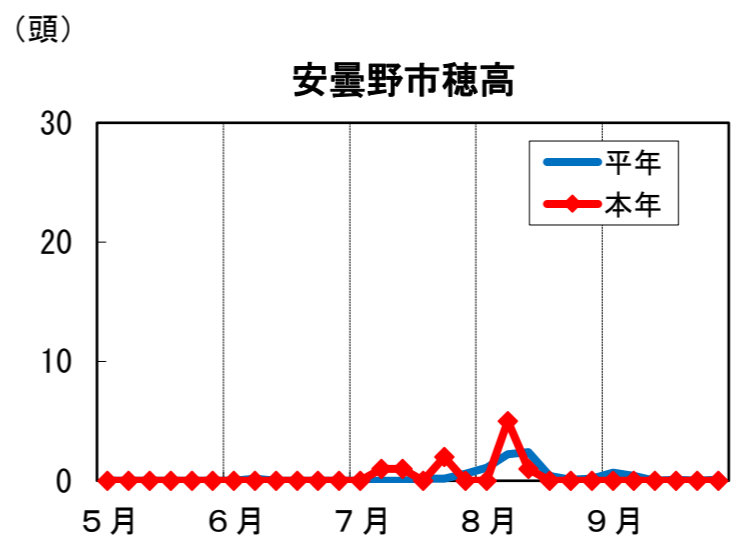
※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



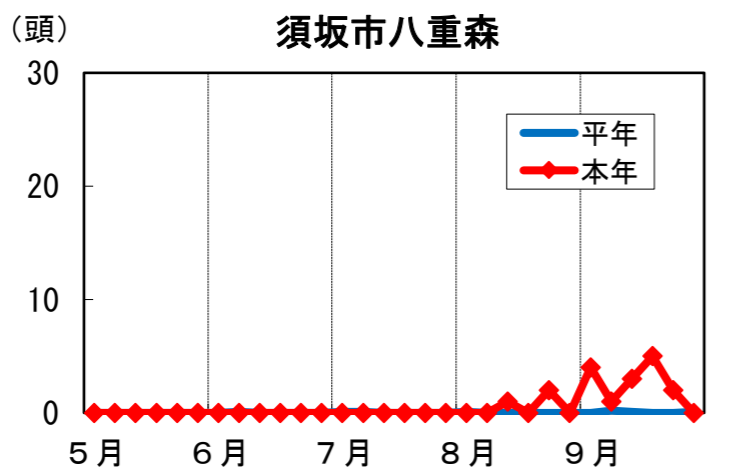
※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均

(参考)

1 発生生態

斑点米を発生させる主要害虫のアカスジカスミカメは、卵で越冬し、畦畔や水田周辺のイネ科牧草・雑草地で増殖します。水田への侵入のピークは出穂期6~15日後あたりで、イネへの加害時期は開花期と登熟期に集中します。出穂期の早い早生品種で被害が多くなる傾向にあります。上のグラフは予察灯(ライトトラップ)で捕獲された成虫数です。

2 防除時期・対策等

出穂期10日後に防除を実施し、常発地では7日~10日後に追加散布を行います。粒剤は効果の発現までに時間を要するため、3日程度早く処理します。水田畦畔の草刈りは出穂2週間前までに実施し、出穂直前はカメムシを水田内に追い込む恐れがあるため行いません。